

HUKUOKA CAN-DO		GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	GRADE 6
A	1	Speed/Rapid Reading (速読) ・パラグラフ毎に書かれている内容の概要や要点を概ね理解することができる。 (目安:60WPM)	・パラグラフ毎に書かれている内容の概要や要点を概ね理解することができる。 (目安:75WPM)	トピックセンテンスを探し出すなど、パラグラフ毎に書かれている内容の概要や要点を短時間で理解することができる。 (目安:90WPM)	・パラグラフの概要を短時間で理解することができる。また、パラグラフ相互の関係も理解することができる。 (目安:110WPM)	・パラグラフの内容を限られた時間で概要把握できる他、パラグラフ相互の関係もふまえた上で全体の流れを適切にとらえることができる。 (目安:120WPM)	・パラグラフの内容を限られた時間で概要把握できる他、パラグラフ相互の関係もふまえた上で全体の流れを適切にとらえることができる。 (目安:140WPM)
	2	Comprehension (理解) ・教科書の本文を、日本語に訳しながらであれば、内容を理解できる。(GTEC Gr. 2)	・教科書の本文を読んで、内容の大筋(出来事の流れ)を理解できる。 ・1文が短く、単純な構文で書かれた教科書の内容を、日本語に訳さなくても、内容を理解できる。(GTEC Gr. 3)	・教科書の本文の、1つの段落内の要点や内容のつながりを理解できる。(GTEC Gr. 4)	・教科書の本文について、複数の段落間のつながりや文章全体の構成を理解できる。(GTEC Gr. 5)	・教科書の本文の中の重要な点(とそうでない点)を区別し、書き手の意図などを正確に理解して、筆者の意見と自分の意見とを比較しながら読むことができる。	・教科書の本文の中の重要な点(とそうでない点)を区別し、書き手の意図などを正確に理解して、自分の意見と比較しながら文章を批判的に読むことができる。(GTEC Gr. 6)
	3	Reading Materials (英文の題材) ・簡単なポスターや招待状などの日常生活で使われる非常に短い簡単な文章を読み、理解することができる。(CEFR-J: A1. 2) ・身近な人からの携帯メールなどによる、思い出しながら書かれた非常に短い簡単な近況報告を理解することができる。(CEFR-J: A1. 2)	・簡単な語を用いて書かれた、スポーツ・音楽・旅行など個人的な興味のあるトピックに関する文章を、イラストや写真も参考にしながら理解することができる。(CEFR-J: A1. 3)	・簡単な語を用いて学習目的に書かれた人物描写、場所の説明、日常生活や文化の紹介などの、説明文を理解することができる。(CEFR-J: A2. 1)	・簡単な英語で表現されていれば、旅行ガイドブック・レシピなど実用的・具体的で内容が予想できるものから必要な情報を採ることができる。(CEFR-J: A2. 2)	・語句に日本語の注釈がつけられた英語学習者向けの英字新聞(週刊STやAsahi Weekly)などで、興味のある記事は、辞書を使いながら読めば大抵は理解できる。(GTEC Gr. 5)	・インターネットや参考図書などを調べて、文章の構成を意識ながら、学業や仕事に関連する情報を手に入れることができる。必要であれば時に辞書を用いて、図表や関連づけながら理解することができる。(CEFR-J: B1. 2)
	4	・個人的な短い手紙やEメールの英語のメッセージを、辞書を使わずに読むことができる。(GTEC Gr. 2)	・外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語の大意がわかるまで理解できる。(GTEC Gr. 3)	・外国語学習者向けに易しい英語で書かれた物語を、内容の重要な点を理解しながら、そのつながりを理解できる。(GTEC Gr. 4)	・生活、趣味、スポーツなど、日常的なトピックを扱った文章の要点を理解したり、必要な情報を取り出し取り捨てることことができる。(CEFR-J: A2. 2)	・ゲームのやり方、申込書の記入のしかた、ものの組み立て方など、簡潔に書かれた手順を理解することができる。(CEFR-J: B1. 1)	・語句に注釈のない日本の英字新聞(Japan TimesやDaily Yomiuriなど)で、興味のある記事は、辞書を使いながら読めば大抵は理解できる。(GTEC Gr. 6)
	5	Story/Essay Reading (物語・エッセイの読解) ・物語やエッセイを読むとき、辞書を引きながら、注釈や説明に頼りつつ、なんとなく読み通すことができる。	・物語やエッセイを読むとき、注釈や説明を参考にしながら、あらすじや要点をなんとなく理解することができる。 ・簡単な語を用いて書かれた、挿絵のある短い物語を理解することができる。(A1. 3)	・物語やエッセイを読むとき、辞書を引きなくとも、ある程度推測しながら読み飛ばしてあらすじや要点を理解することができる。 ・簡単な語を用いて書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。(A1. 3)	・物語やエッセイを読む時は、辞書を引きなくとも、ある程度推測しながら全体を読み通してストーリーの概要や要点を理解することができる。	・やや長めの物語やエッセイを辞書を頻りに引かなくとも、ある程度未知語を推測しながら全体を読み通し、あらすじや要点を理解することができる。	・長めの物語やエッセイを、辞書を引きなくともある程度推測しながら全体を読み通し、あらすじや要点を理解することができる。 ・平易な英語で書かれた長めの物語の筋を理解することができる。(CEFR-J: B1. 2)
	6	Logical Reading (論理的な文章の読解) ・簡単な説明文を読み、筆者の意図を概ね読みとることができる。	・簡単な説明文を読み、筆者の意図を適切に読みとることができる。	・論理的な英文を読むときは、詳細にはないが論理の流れを意識して読むことができる。	・論理的な英文を読む時には、論理の流れを理解しながら、筆者の意図や主張を読みとることができる。	・説明文や評論などの論理的な英文を、文章の構成や筆者の主張、図表との関連に注意しながら内容を適切に理解できる。	・評論などの論理的な英文を読む際には、筆者の考えや主張を理解するとともに、客観的にかつ批判的な読みができる。
	7	Oral Interpretation (解釈を伴う音声表現) ・英文の内容の理解は十分ではないが、内容がほぼ聞き手に伝わる音読ができる。	・英文の内容の理解は多少不十分な点はあるが、内容が聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読ができる。	・英文の内容の理解がほぼ十分であり、内容が聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読ができる。	・英文の内容の理解が十分であり、内容が聞き手に伝わる自然な区切りやスピードで音読ができる。	・英文の内容の理解が十分であり、理解した内容を聞き手に伝わるようにポーズやスピードに工夫を凝らした音読ができる。	・英文の内容の理解が十分であり、理解した内容を聞き手に十分伝わるように、ポーズ・強弱・スピード等に効果的な工夫を凝らした音読ができる。
B	1	W/M (聴解の速さ) ・1分間80~100語レベルの英文の概要を聞き取ることができる。 ・比較的ゆっくりと話された会話であれば、何とかトピックをつかむことができる。	・1分間80~100語レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。 ・比較的ゆっくりと話された会話であれば、何回か聞けば大意をとらえることができる。	・1分間100~120語レベルの英文の概要を聞き取ることができる。 ・自然な速さで話された会話であれば、大意をとらえることができる。	・1分間100~120語レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。 ・自然な速さで話された会話であれば、大意をとらえることができる。	・1分間120~140語レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。 ・自然な速さで話された会話であれば、大意をとらえることができる。	・1分間140~160語レベルの英文の内容を正確に聞き取ることができる。
	2	・比較的ゆっくりと話される120~140語程度の身近な話題の英文の概要をほぼ理解することができる。	・比較的ゆっくりと話される120~140語程度の身近な話題の英文の概要を理解することができる。	・自然なスピードで話される120~140語程度の英文を、数回聞けば、その使用状況や概要をおおむね理解できる。	・状況のはっきりした場面で、自然なスピードで話される120~140語程度の英文を、数回聞けば概要をほぼ理解できる。	・講義形式の自然なスピードで話された200語程度の英文を、数回聞けば概要をほぼ理解できる。	・講義形式の自然なスピードで話された200語程度の英文を、数回聞けばほぼ正確に理解できる。
	3	Classroom English (教室内英語の聞き取り) ・教室で用いられる英語は、ゆっくりと繰り返し話された簡単なものであれば大抵理解できる。	・教室で用いられる英語は、繰り返し話されれば、ほぼ理解できる。	・教室内で用いられる英語は、自然なスピードで話されてもほぼ理解できる。	・教室内で用いられる英語は、自然なスピードで話されてもほぼ理解でき、即座に行動に移すことができる。	・教室で用いられる英語は、自然なスピードで話されても、即座に反応することができる。	・教室で用いられる英語は、自然なスピードで話されても十分に理解でき、内容が複雑なものであっても、即座に反応することができる。
	4	Comprehension (理解) ・英語で電話番号を聞いたり、お店で値段を聞いたたり、ゆっくり簡単な英語で話してもらえば近くの場所までの道順を、ほぼ理解できる。(GTEC Gr. 2)	・英語のネイティブスピーカーがスピードやポーズなどにかなり配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。(GTEC Gr. 3)	・英語のネイティブスピーカーがスピードやポーズなどに、ある程度配慮して話をすれば、おおよその内容を理解できる。(GTEC Gr. 4)	・英語のネイティブスピーカーがはっきりとした発音で話をすれば、おおよその内容を理解できる。(GTEC Gr. 5)	・日本で放送されているラジオやテレビの英語のニュース全般を聞いて、どのような内容か大筋を理解できる。(GTEC Gr. 6)	・海外で放送されているラジオやテレビの英語のニュース全般を聞いて、どのような内容か大筋を理解できる。(GTEC Gr. 7)
	5	Topic (英文の題材) ・趣味やスポーツ、部活動などの身近なトピックに関する短い話をゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。(CEFR-J: A1. 2)	・ゆっくりはっきりと話されれば、自分自身や自分の家族・学校・地域などの身の回りの事柄に関連した句や表現を理解することができる。(CEFR-J: A1. 3)	・ゆっくりはっきりと話されれば、公共の乗り物や駅や空港の短い簡潔なアナウンスを理解することができる。(CEFR-J: A2. 1)	・スポーツ・料理などの一連の行動を、ゆっくりはっきりと指示されれば、指示通りに行動することができる。(CEFR-J: A2. 2)	・外国の行事や習慣などに関する説明の概要を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。(CEFR-J: B1. 1)	・標準的な早さの録音や放送(天気予報や空港のアナウンスなど)を聞いて、自分に関心のある、具体的な情報の大部分を聞き取ることができる。(CEFR-J: B1. 2)
	6	・日常生活の身近なトピックについての話を、ゆっくりはっきりと話されれば、場所や時間等の具体的な情報を聞きとることができる。(CEFR-J: A1. 2)	・(買い物や外食などで)簡単な用をたすのに必要な指示や説明を、ゆっくりはっきりと話されれば、理解することができる。(CEFR-J: A1. 3)	・学校の宿題、旅行の日程などの明確で具体的な指示を、はっきりとした声のある発音で指示されれば、要点を理解することができる。(CEFR-J: A2. 1)	・複業補助のある作業(料理・工作など)の指示を、ゆっくりはっきりと話されれば、聞いて理解することができる。(CEFR-J: A2. 2)	・はっきりとした声のある発音で話されれば、自分の周りで話されている長い議論の要点を理解することができる。(CEFR-J: B1. 1)	・はっきりとした声のある発音で話されれば、身近なトピックに関するラジオの短いニュースなどを聞いて、要点を理解することができる。(CEFR-J: B1. 2)
	7	Format (英文の形態) ・教科書のリスニング活動で聞く英語を、1文ずつであれば内容を理解できる。(GTEC Gr. 3)	・教科書のリスニング活動に出でくる、5文程度の長さの英語の短い話や会話をして、話し手の意図や内容の状況をほぼ理解できる。	・教科書のリスニング活動に出でくる、5文程度の長さの英語の短い話や会話をして、話し手の意図や内容の状況を理解できる。(GTEC Gr. 4)	・教科書のリスニング活動に出でくる10文程度の長さのわかりやすい展開の話や会話をして、大筋なら内容を理解できる。(GTEC Gr. 5)	・リスニング活動に出でくる、ある程度の長さで複数の話題が含まれた話や会話をして、主題と詳細情報を区別しながらほぼ理解できる。	・リスニング活動に出でくる、ある程度の長さで複数の話題が含まれた話や会話をして、主題と詳細情報を区別しながら理解できる。(GTEC Gr. 2)
		CEFR-J (March 10, 2012公開版)より			Benesse版 GTEC CAN-DO GRADEより		岩手県版スタンダードCAN-DO LISTより
		GRADE 1	GRADE 2	GRADE 3	GRADE 4	GRADE 5	
入学時							性別・目録など
1年後期							
2年前期							
2年後期							
3年前期							
卒業時							